

Society5.0に向けて

新学習指導要領
「社会に開かれた教育課程」

国・県・教育事務所の施策

令和4年度 棚倉町立高野小学校学校経営・運営ビジョン ～私たちは高野の子どもたちの未来を創ります～

棚倉幼稚園・町内各小学校・棚倉中学校・修明高校との連携

棚倉町教育ビジョン
夢をつなぎ志を育み、
よりよく生きようとする
子どもの育成

教育目標
自ら切り拓く 未来の創造
～学びを創る・仲間を創る・地域を創る～

高野小で培いたいキャリアの力

- 発信力（伝える力）
- 聞く力
- 自分で計画し実行する力
- 新たな課題に挑戦する力
- 失敗しても立ち直る力

高野子どもルール5

- 1 あいさつをしよう
- 2 はっきりと返事をしよう
- 3 ありがとうを言おう
- 4 時間を守ろう
- 5 はきものをそろえよう

重点目標:「自分で決める」活動の日常化
～Well-beingの実現と生き抜く力をつけるために～

探究的な
学びで既習事
項をつなぐ

地域と創る子どもたちの学び
「ふるさと棚倉」
～地域・環境・歴史そして私達と未来～

地域とともにある学校

☆生活科・総合的な学習の時間を核としたキャリア教育

→教科等横断的な学びの充実（既習事項の活用）
探究的な学びの中での自己決定力の構築

☆地域・学校外との連携

→ひと・もの・歴史・未来・思いをつなぐ

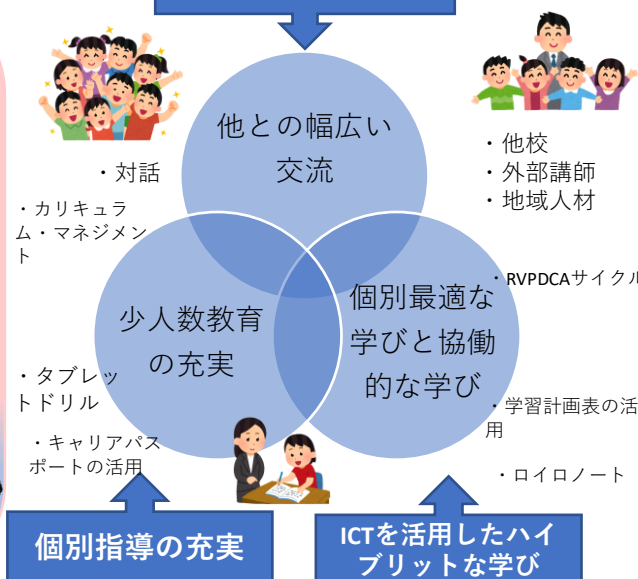
学校を核とした地域づくり

☆高野フューチャーラボの活用
→教育活動の実践的な場、地域協働の場
保護者・地域との連携拠点



未来を創るための手立て

オンライン交流



個別指導の充実

ICTを活用したハイブリットな学び

高野の子どもたちの姿

- しっかり話を聞いて、相手の考えを受け止められる姿。
- 臆せず自分の考えや思い、学んだことを自分の言葉で伝える姿。
- 自分の学びを自分で決めて、実行する姿。
- 多様な人と協働し、課題を解決したり、新たなものを生み出したりする姿。
- 失敗をしても立ち直り、恐れずに再び挑戦する姿。

高野の教職員の姿

- 少人数の良さを最大に生かし、一人一人の学びを適切に支援する教育をします。
- ふるさとを誇りに思い、地域の一員として生きる子どもたちを育てます。
- 子どもたちの夢を大切にし、何が起ころうとも生き抜けるキャリアの力を育てます。

保護者の願い

- 少人数教育ができる利点を生かし、一人一人に手厚い教育をしてほしい。
- 地域と一体となって教育してほしい。
- 思いやりのある子どもたちに育てしてほしい。

学校運営協議会：年3回の定例会、学校行事への参加、
「高野小学校の活性化」の推進、評価を学校運営に生かす

高野フューチャーラボ
交流人口の増加・リカレント教育

学力向上ブランドデザイン

R高野小の課題

- 1 少人数のため個人差が目立ちやすい
- 2 基礎学力が不十分
- 3 家庭学習時間の不足

V学力向上の基礎力

- 1 学びを自らマネジメント
- 2 主体的に学ぶ姿勢
- 3 分からないことへの挑戦

P未来を作る手立て

- 1 確実な個別最適な学びの成立
- 2 協働的な学びの場の設定

D具体的な方策

- 1 タブレットドリルの活用
- 2 対話を生かす
- 3 家庭学習の積極的な指導

C評価を生かす

- 1 標準学力調査
全教科目標値+1
- 2 Q-Uなど諸調査の活用

A学習計画表を用いた評価と励まし

- 1 個人内評価の分析とフィードバック
- 2 基礎的・汎用的能力を向上させるための授業改善